

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【公開番号】特開2016-53488(P2016-53488A)

【公開日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-023

【出願番号】特願2014-178810(P2014-178810)

【国際特許分類】

G 2 1 F 9/02 (2006.01)

【F I】

G 2 1 F 9/02 5 1 1 T

G 2 1 F 9/02 5 1 1 C

G 2 1 F 9/02 5 4 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月31日(2017.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヨウ素を含有する処理ガスが供給される配管と、
前記配管の経路上に配置されたフィルタベントと、
前記配管の経路上における前記フィルタベントの下流側に配置され前記処理ガス中の成分と反応して反応熱を発する発熱部材と、
前記反応熱によって加熱された前記処理ガスの供給経路に配置されたヨウ素吸着部材とを備えた
ヨウ素除去装置。

【請求項2】

前記ヨウ素吸着部材は、前記配管の経路上において前記発熱部材の下流側に配置された請求項1に記載のヨウ素除去装置。

【請求項3】

前記発熱部材と前記ヨウ素吸着部材とは、前記配管の経路に沿って交互に配置された請求項2に記載のヨウ素除去装置。

【請求項4】

前記発熱部材と前記ヨウ素吸着部材とは、前記配管の経路上において混在して配置された
請求項1に記載のヨウ素除去装置。

【請求項5】

前記発熱部材と前記ヨウ素吸着部材とは、隣接した状態で配置された
請求項1に記載のヨウ素除去装置。

【請求項6】

前記発熱部材は、水素再結合触媒、金属酸化物触媒、アンモニア合成触媒、および水素吸蔵合金の何れかを用いて構成された

請求項1～5の何れか一項に記載のヨウ素除去装置。

【請求項7】

前記配管の経路上において前記ヨウ素吸着部材が配置された部分に、前記処理ガスが供

給される伝熱管が敷設された

請求項 1 に記載のヨウ素除去装置。

【請求項 8】

前記伝熱管は、前記配管の一部によって構成された

請求項 7 に記載のヨウ素除去装置。

【請求項 9】

前記伝熱管内に、前記処理ガス中の成分と反応して反応熱を発する発熱部材が収容された

請求項 8 に記載のヨウ素除去装置。

【請求項 10】

原子炉と、

前記原子炉を格納した原子炉格納容器と、

前記原子炉格納容器に接続された配管と、

前記配管の経路上に配置されたフィルタベントと、

前記配管の経路上における前記フィルタベントの下流側に配置され当該配管に供給された処理ガス中の成分と反応して反応熱を発する発熱部材と、

前記反応熱によって加熱された前記処理ガスの供給経路に配置されたヨウ素吸着部材とを備えた

原子力プラント。